

整理番号 200413548
発送番号 515154
発送日 平成18年11月14日

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2004-297514
起案日 平成18年11月9日
特許庁審査官 廣川 浩 9471 5V00
特許出願人代理人 藤田 アキラ 様
適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1-5
- ・引用文献等 1-3
- ・備考

引用文献1には、スキャナで読込まれた画情報を格納する記憶装置を備える複写装置において、あらかじめ格納された前記画情報を、読み込まれた順序と異なる任意の順番に変更して読出し、プリントアウトすることが記載されている。

また、引用文献2には、任意の画像を複数選択すると、その選択した順序に基づいて画像のコピーを一括して実行することが記載されており、このような技術を、引用文献1において順番を変更する際に適用することは、当業者であれば容易に成し得たことにすぎない。

なお、印刷後、ステープル止めのような後処理を行うことは、画像形成装置の技術分野において周知慣用技術にすぎない（必要ならば、引用文献3等参照）。

2. この出願は、特許請求の範囲及び明細書の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項2に係る発明乃至その記載が不明確である。

（例えば、「予め作成された画像データ」とは、どのようなものを表しているのか、不明確である。）

（なお、意見書提出時に補正を行う場合には、意見書に、当該補正が適法である理由を、その根拠となる出願当初の明細書又は図面の記載箇所を明らかにしたうえで記載されたい。）

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開昭62-249562号公報
2. 特開平7-283896号公報
3. 国際公開第96/18142号パンフレット
（特表平10-512406号公報参照）

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC H04N1/21
H04N1/00-1/00, 108
G06F3/09-3/12
G03G15/00, 303
G03G15/36
G03G21/00, 370-21/00, 540
G03G21/02-21/04
G03G21/14
- ・先行技術文献 特開平4-252566号公報
特開昭63-208157号公報

この先行技術文献調査の結果は、拒絶理由を構成するものではない。